

ケース

1

「家族になにかあった時」

妻が突然入院手術のケース

多田さん夫婦は、友人の紹介で結婚。妻の多佳子さんは結婚を機に専業主婦となりました。翌年に長女香奈ちゃんの誕生、3年後には長男の大翔くんも生まれ、幸せいっぱいでした。しっかり者の多佳子さんに家のことすべてをまかせていたのですが、多佳子さんが突然病気で手術、長期入院することになってしまいました。

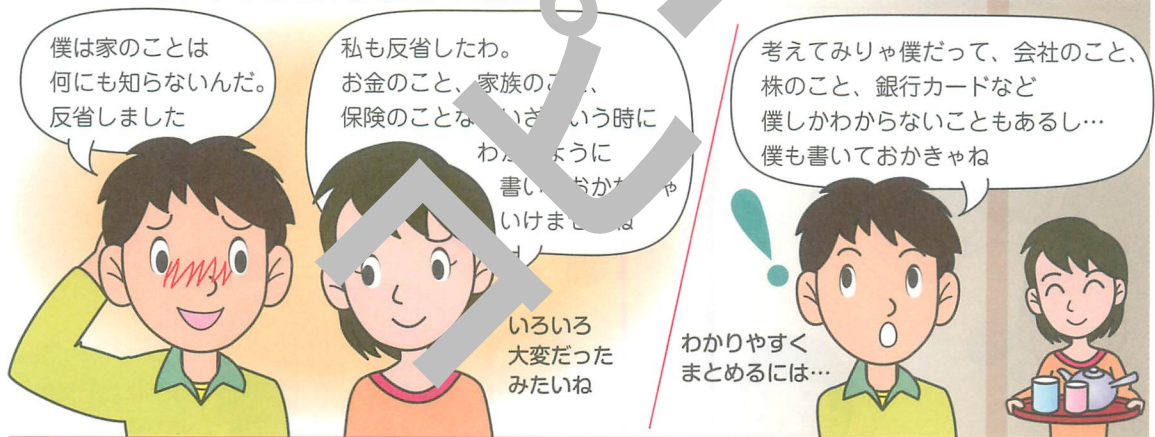


多田さん夫妻の場合

夫：賢治さん(35歳 / 会社員) 妻：多佳子さん(30歳 / 主婦)
 子供：香奈ちゃん(7歳 / 小学2年生) 大翔くん(4歳 / 幼稚園)



で、奥さんは無事退院...



「Life&Ending Note」には、年齢を問わず、家族に伝えておきたい情報を書いておけるのよ



ケース

2

「親にもしものことがあると、みんなが困る」

ひとり暮らしの母親が亡くなったケース

山田和夫さんは商社勤務の管理職、妻の由紀子さんは専業主婦でボランティアのカウンセラーをしています。子供は3人とも大きくなり、余裕ができました。和夫さんの父は早く他界し母親はひとりで暮らしていましたが、昨年亡くなりました。和夫さんの兄妹は3人。由紀子さんの両親は健在です。



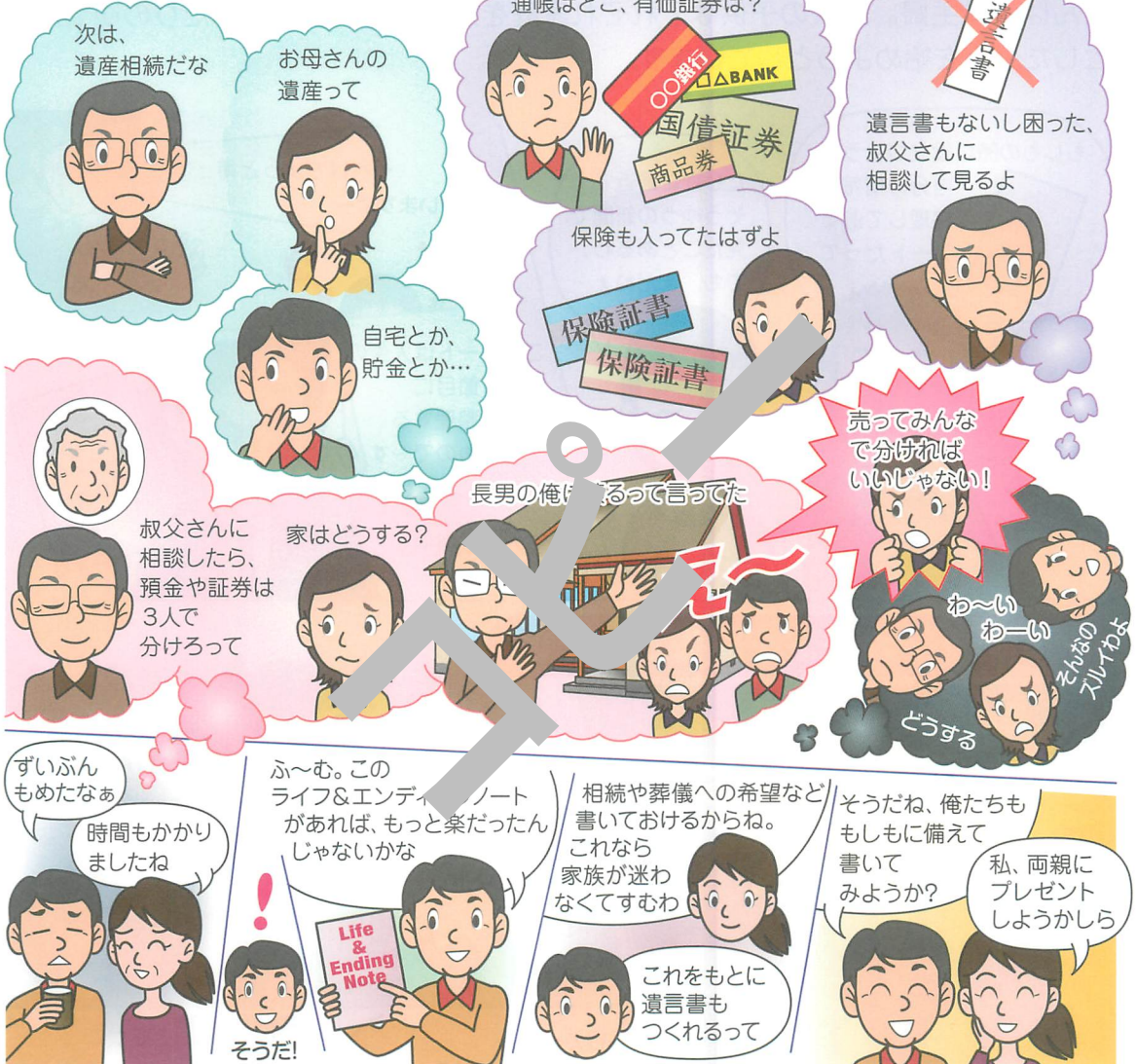
葬儀が終わって...



山田家の場合

夫：和夫さん(54歳 / 会社員) 妻：由紀子さん(52歳 / 主婦)
 和夫さんの兄：和明さん(56歳 / 会社員)
 和夫さんの妹：優子さん(48歳 / 主婦)

葬儀のあとしばらくして...



母親が亡くなって葬儀や遺産相続で苦労した和夫さん。法的な効果のある遺言書と、自分のさまざまな情報が書ける「ライフ&エンディングノート」両方とも書いておくと安心なんだと気がつきました。母親がどうしてほしかったのかがわかれば、もっとスムーズに進められたはずと残念に思っています。

ケース

3

「ライフ(日常生活)のなかで困った例」

たとえばクレジットカード紛失

長谷川さん夫妻は、夫の達夫さんが電機関係の会社を昨年定年退職。妻の真紀子さんは専業主婦。三人の子供はそれぞれ家庭を持ち、いまは夫婦ふたりのゆったりとした生活を始めようとしています。



クレジットカード紛失した



長谷川さん夫妻の場合

夫：達夫さん(62歳 / 退職後アルバイト)

妻：真紀子さん(58歳 / 主婦)

この家に引っ越したのはいつだった…

いろいろありましたね。
思い出を整理して
おきたいですねアルバムや
デジカメの画像
だけじゃないのよところで東京へ
行ったのは何年
だったっけ？この家
建てたのは何年
だったっけ？でしょ、そういう
思い出の時期が節目。
整理しなければね

緊急時の連絡で大慌て

大変！ 大変!!
ドイツに住んでる
姉が重病だって。
ドナーの適合検査
で次女がすぐドイツ
に行くんだって…

姉さん…

それは
大変だねドイツの
連絡先？次女の
住所は？兄と弟にも連絡して
おかなきゃ…次女の犬の世話は
近くに住んでる
叔父にとりあえず…叔父の
電話は？連絡先どこに
あるかしら…
ああ困った…いざという時の
ために親族の
連絡先も整理して
おかなきゃね

クレジットカードを紛失した達夫さん、大慌てですね。日常生活での備忘用ノートとしても活用。また、自分の人生年表としてももちろん役立ちます。同僚から聞いたことが節目、思いついた時が節目。節目、節目に自分を整理することで新しい一歩がはじまると思いました。